

# アヴィエスマリーハウスお住まい見聞レポート

家族も住まいも  
共に変化を楽ししめる暮らしぶり  
手に入れた。

どんなものも時間が経てば劣化していくもの。  
木の材のみの木は経年変化を楽しめる。



CASE7:宮城県宮城郡 Kさんのお宅

家族構成:夫30歳、妻、長女3歳  
延べ床面積:34坪 部屋:4LDK  
こだわり設備:1階・2階とも全フロアにもみの木+太陽光発電。  
スピンドル施工で省エネeco率高し。



2階の階段を上がった通路部分。  
壁をくりぬき、収納スペースを確保、ちょっとした工夫が楽しい。



子供の成長にあわせ、靴箱の  
スペースを大きく作っておきたいと壁の裏側にある和室押  
入れの下部に反対側から収納を作られたそう。



見た目も美しい太陽光発電。  
屋根の形状と質感にもマッチしています。



左が「買電」右が「売電」の伝票。12月の電気代は  
「買電」12,174円-「売電」7,104円で5,070円!  
家族3人の電気代としてはかなりお得ですね。



子供が小さなうちは子供の遊び場にしようと、ダイニングスペースは腰窓をチョイス。窓からの転落を防いだり、壁にもたれて座ることもできる。



JAXAで開発された技術を転用した断熱塗料「スピンドル」は何と1200色ものカラーバリエーション!  
奥様が長女Mちゃんが大好きなピンク色とオフホワイトを配色。上品で暖かみあるお部屋に仕上がっています。

アヴィエスマリーハウスで初めて「太陽光発電」を紹介する。太陽光発電で発電した電気を電力会社に販売することと価格が買電へ従来の電気代)価格の約2倍!パネル操作も簡単で、いつでも売電量と買電量をチェックでき、月ごとに比較もできる。その家の電気をつけっぱなしにしないことや、日々に電気を使わないよう、家族にも地球にも、家計にも優しい我が家ですね。



もみの木の特性を活かした建築ができるのはアヴィエスマリーハウスならでは。  
ご主人も木の木に惚れ込んだご主人はマイホームの引渡しに合わせて、もみの木のリビングテーブルを特注。このテーブルでの家族団らんが至福のひと時。

30歳とお若い主人が家作りを決められたきっかけは「考えたくないけれど、自分に何が一のことがあった場合、その先にある家族の暮らしを守りたかったから」とお言葉が。住宅ローンを組む時に固体信用生命保険に入れるといふ。万が一の際にはローン返済が免除され、家族に我が家と土地を残せるということをモデルハウスの方から聞き、一人前の父親として何ができるかと考えた結果、決めました」とのこと。胸に響きました。

「家族をとても大事にされていいる主人は「変化していくことを大切にする暮らしかった」と経年変化する木の木に出会い、「一目ぼれした」という。オール電化住宅でもあるため冷暖房はエアコンのみですが、もみの木の床材とスピンドル塗料の施工による相乗効果のおかげで冬も一階エアコンのみで2階まで暖かく、夏は湿気くさくなったりとした空気の層ができる。もみの木の調湿作用(湿気の吸収と発散を行う作用)も快適な空気環境作りに役立っているのですね。

JAXAの宇宙開発技術から生まれた断熱塗料スピンドルは、太陽光発電を搭載した次世代の住まいに仕上がっていきます。

**担当より一言**  
  
営業部  
渡辺 留美子

いつも笑顔で迎えてくださるK様がすこく上手で大好きなキャラクターのお話を一生懸命聞かせてくれます。Mちゃんはオレンジ色が大好きで、洋服のどこかにはオレンジ色が使われています。そんなMちゃんのために奥様が悩みに悩んで選ばれた、お部屋の壁のオレンジ色。薄すぎても落ち着かない、いい色なのです。セントスの奥様だけあって、なんとも言えない程よいピンク色に仕上がりました!Mちゃんもお気に入りのようですね。部屋見る?と案内してくれます。Mちゃんは決断が早く、土地選びから間取り決めまで短期間で決めて頂きました。しかしながら、早い判断の裏には、ご主人のご家族を想うやさしい配慮がたくさん詰まっています。これを知り感動しました!



グリーンの壁の背景には間接照明を設置。  
柔らかな光で客人に安らぎを与え、和室に遊び心を加えた斬新な作り。